

～保護者の皆様へ～

お子様に『デートDV』予防啓発リーフレットを配布しました

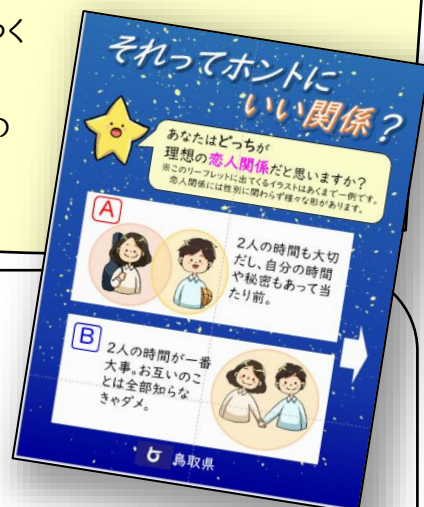
鳥取県では、誰もが暴力の加害者にも被害者にも傍観者にもならない社会をつくることを目指し、中高生を対象に『デートDV』予防啓発活動に取り組んでいます。

それってホントにいい関係？をテーマに、自分も相手も大切にする、対等な関係の築き方を知ってもらっています。

『デートDV』って何??

恋人間で起こるDV のこと。

DVとは、暴力を使って相手を支配(コントロール)することです。大人の夫婦間だけで起きていることと思いませんか？若者等の恋人間でも8人に1人の割合で被害を受けています。(内閣府「令和2年度男女間における暴力に関する調査」より)



デートDVの特徴・・・嫉妬して束縛することや嫌なことでも受け入れることを「愛情」と思い違いしてしまう

DVで使われる暴力は殴る、蹴るだけではありません。スマホを勝手に見たり、LINEの返信が遅いと怒る、行動を制限する等も暴力です。「好きだから」を理由に、相手を束縛したり、嫌でも我慢して受け入れることは当たり前と思っていると、誰でも気づかぬうちに加害者にも被害者にもなってしまいます。特に現代は、ネットやSNSの普及により、離れている時間でもお互いの様子を知ることが出来るため、束縛が起りやすくなっています。

詳しくは、お子様に配布した『デートDV』予防啓発リーフレットをご覧ください。➡

鳥取県のHPからご覧いただけます。

デートDVは、重大な人権侵害です。時には犯罪にもなります。



子ども達がデートDVの加害者にも被害者にもならないためには、
一番身近におられる保護者の皆様のご理解とご協力が必要です。

大人はどうすればいいのでしょうか？

中高生は社会的にも精神的にもまだまだ大人の手助けが必要な時期ですが、自立心から大人の話に素直に受け止められないこともたくさんあります。そんな時期の子ども達の身近でデートDVが起った時、大人はどのように関わっていくことができるのか、子ども目線で考えてみたいと思います。

心理士による
裏面

大人のための「デートDV」予防講座
～身近な大人にできること～

をご覧ください➡

発行／鳥取県配偶者暴力相談支援センター

東部圏域

福祉相談センター女性相談課
(鳥取市江津318-1)
☎0857-27-8630

中部圏域

中部総合事務所県民福祉局地域福祉課
(倉吉市東巖城町2)
☎0858-23-3147

西部圏域

西部総合事務所県民福祉局地域福祉課
(米子市糺町1丁目160)
☎0859-31-9304

大人のための『デートDV』予防講座 ～身近な大人にできること～

STEP1 予備知識 加害者心理／被害者心理

加害者心理 好きなら当然 腹を立てた相手が悪い

好きな人に対して「今何しているか気になる」「全部知りたい」「他の誰かと仲良くしていると嫉妬する」「体に触れたい」…そんな感情を抱くことは自然なことです。しかし、恋人になると「相手が自分の所有物になった」と思い違いし、「相手を思い通りにする権利がある」と、暴力を使って相手を思い通りにしようとします。また、「腹を立てた相手が悪い」と暴力を正当化したり、「自分の方が被害者だ」と責任を転嫁し、加害に気づいていないことも多いです。

被害者心理 愛されているから 自分が悪い

デートDVは、好き(やさしさ)と暴力(恐怖)が繰り返される中で起こっています。そのため、暴力をふるわれることを「それだけ愛されているからだ」と思い違いし、被害に遭っていることに気づいていないこともあります。また、自分を責めたり、自分が頑張れば暴力はなくなると期待している、嫌われたくないと我慢している、相手に秘密を握られ、別れたくても別れられず悩んでいる、など様々な状況が考えられます。

暴力の責任はふるった側にあります。ふるわれた側に責任はありません。

STEP2 早期発見 こんな様子が見られたら…もしかして？

- ☐ 自分との約束を優先させている
- ☐ 相手のスマホを勝手にチェックしている
- ☐ 相手に自分の好みの服装や髪型をさせている
- ☐ 相手が嫌がっても性的な行為を求めている
- ☐ スマホを何度も確認して、イライラしている
- ☐ いつもデート代を払わせている
- ☐ 人付き合いを制限させている
- ☐ 「別れたら死ぬ」などと脅している

デートDVをしてしまっていない？

- ☐ 表情が暗くなった
- ☐ 急に泣き出すなど、精神的に不安定な感じがある
- ☐ 交際相手の話をしなくなった
- ☐ スマホをととても気にして、ビクビクしている
- ☐ 時間帯に関係なく急に仕掛ける
- ☐ 頭痛や腹痛を頻繁に訴える
- ☐ 学校に行きたがらない
- ☐ 体に傷がついている

デートDVに遭っていない？

STEP3 適切な対応 もしかして？と思ったら…

まずは落ち着いて。

デートDVの加害や被害に気づくと、「まさかこの子が…」とショックや心配のあまり、「何をしているの!」「早く別れなさい」等と言いたくなるかもしれません。しかし、子ども達は、自分が加害者や被害者になっていることに気づいていないことも多く、そんな時に身近な大人から、好きな相手との関係を否定されたり怒られたりすると、どんな気持ちになるのでしょうか?…困った時に相談したり助けを求めにくくなってしまいます。まずは落ち着いて、声をかけてみてください。

いつでも話をきくからね

気持ちに寄り添って話を聴いてください。

デートDVの関係の中で一番怖いのは、2人の間で何が起きているのか、周りが気づくことが出来なくなることです。そうならないために、まずは話してくれた勇気を受け止め、お子様の気持ちに寄り添ってしっかり話を聴くことで、何が起きているのか、何が心配なのかを把握できる関係を作ってください。

話してくれてありがとう

デートDVをしてしまっていたら…

加害者の中には、自分のしていることは暴力だと気づいていなかったり、暴力という方法を誤って学習してしまっており、暴力以外の解決方法を知らない場合もあります。そのため、自分のしていることは「暴力」という間違った方法だと認めるには、時間と勇気が必要です。しかし、気づいた時が変わるチャンスでもあります。暴力以外の方法を新しく学んだり、学び直すことができるよう、大人が手を貸してあげられるとよいと思います。

他の方法を一緒に考えよう

デートDVに遭っていたら…

まずは、こんなメッセージを伝えてください。

あなたは悪くない

私たちはあなたの味方

あなたの命・体・心がとても大切

秘密は守るからね

時間はかかるかもしれませんが、寄り添い続けることで、本来のお子様らしさを徐々に取り戻してくれるとよいと思います。

※被害者が責任を感じてしまうような言葉は避けてください。

※どうしてそんな人を選んだの？

※何で別れないの？

困った時は抱え込まずに、専門機関に相談してください。

なかなか解決が難しいのがデートDVの特徴です。困った時は自分達だけで解決しようとせず、学校の先生や相談機関に相談してください。

一緒に専門家へ相談してみよう

相談機関

※身に危険があり、緊急性の高い時は警察に通報(☎110番)してください。



子ども達の生活の中で、暴力はデートDV(恋人関係)に限らず、いじめ(友人・先輩後輩関係)、虐待(親子関係)など、様々な人間関係に共通して生じる問題です。そして、これから大人になってから(パワハラ)も同じです。

今、子ども達は、自立心と依存心の狭間で、とても不安定な時期ではありますが、その分、柔軟性がある時期でもあります。だからこそ、今、この時期に、人と人との対等な関係の築き方について正しく知っておくことは、子ども達が今も、そしてこれからも、安心・安全で幸せな生活を送っていく鍵となります。

子ども達の未来にたくさんの笑顔がありますように…

